

- シンポジウム「我が国は高齢化を支えられるか」
- ＜座長＞ 河野 稠果（厚生省人口問題研究所）
大淵 寛（中央大学）
1. 人口学的観点から……………嵯峨座晴夫（早稲田大学）
2. 経済学的観点から……………小川 直宏（日本大学）
3. 社会保障の観点から……………丸尾 直美（中央大学）
4. 福祉の観点から……………岡田 真（駒沢大学）
- ＜討論＞ 江見 康一（帝京大学）
岡崎 陽一（日本大学）

第39回大会は神戸大学において開催される予定である。

（清水浩昭記）

国際人口学会「出生力・家族計画の比較分析に関する委員会」

国際人口学会（I U S S P）は、1985年の総会（フローレンス）において、M. Livi-Bacci新会長の下で新しいメンバーによる各種委員会を発足させた。「出生力・家族計画の比較分析に関する委員会（C C A F F P）」はIqbal Alam（E S C A P人口部）を委員長とする9人のメンバーからなり、フローレンスでの第1回会議に続き、本年5月21日（水）～23日（金）の3日間ベルギーのリージュにおいて第2回の会議を開催した。会議には、I U S S P副会長のW. プラスの他、関連3団体の代表が参加した。本研究所からは阿藤誠人口動向研究部長が出席した。

会議の主たる目的は、今後数年間に委員会が開催するセミナーの企画案（中心テーマ、部会テーマ、報告者の選定）の作成にあった。会議の要点は以下のとおり。

(1)「出生力の生物医学的決定因とその人口学的含意」に関するセミナー：1987年春米国Johns Hopkins大学にて開催予定（同大学との共催）。

- 主要テーマ ① 再生産過程と不妊
② 受胎・妊娠継続過程と胎児死亡
③ 分娩後の不妊

(2)「アジアの出生力転換：多様性と変化」に関するセミナー：1988年1月バンコクにて開催予定。

- 主要テーマ ① 人口大国における出生力の地域差
② 特定民族の出生力の多国間比較
③ 社会変動と出生力の関係
④ 出生力急低下の社会的影響
⑤ タイの人口転換

(3)「家族計画プログラムの管理運営問題（仮題）」に関するセミナー：1989年に開催予定。

- 主要テーマ ① 政策形成のための調査研究：アジアの経験
② アフリカの研究動向：家族計画プログラム展開のための健康調査からの教訓
③ 家族計画プログラム策定のための調査研究からの教訓
④ 人口プログラムのための組織論的研究からの教訓

(4)「ラテンアメリカの出生力転換（仮題）」に関するセミナー：1990年に開催予定。

- 主要テーマ ① 出生力転換過程の概観
② 社会的、経済的、制度的転換と出生力変化
③ 経済危機と出生力
④ 家族計画プログラムと出生力転換
⑤ 出生力の将来と出生力低下の影響

（阿藤 誠記）